

2026年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330311049	保育原理 Early Child Care and Education	田村 佳世			2	必修	1前期

科目の概要

本講義「保育原理」は、保育の意義・目的、法令および制度、保育所保育指針、保育思想の歴史の変遷、そして現代的課題について体系的に学ぶことを通じて、保育の本質を理解することを目的とする科目である。まず、保育の理念や「子どもの最善の利益」を中心概念として学ぶことは、子どもを尊重する姿勢や倫理観を育成するものであり、本学DP (1) に示される「真心・努力・奉仕・感謝」の四大精神の実践的理解に対応している。保育を単なる技術としてではなく、人間理解と価値観に根ざした営みとして捉える視点を養う。次に、子ども家庭福祉関連法令や子ども・子育て支援新制度、保育所保育指針の内容を学修することは、保育士・幼稚園教諭等に不可欠な基礎的専門知識の修得を目的とするものであり、DP (3) 「専門的知識・技能を身に付けている」に対応する。制度的枠組みと実践の関連を理解し、専門職としての基盤を形成する。さらに、諸外国および日本の保育思想や歴史的展開、ならびに現代的保育課題を考察することは、社会的視野を広げ、多面的・批判的に物事を捉える力を育成するものであり、DP (5) に示される社会人基礎力やPISA型学力、統合的な判断力の形成につながる。以上の学修を通して、本講義は保育を社会的・歴史的文脈の中で総合的に理解し、専門職として自立して思考する基礎力を養うことを目指す。

学修内容	到達目標
① 保育の理念・概念および「子どもの最善の利益」の意義を理解し、保育の社会的役割と責任を理解する。 ② 子ども家庭福祉の法体系および関係法令、子ども・子育て支援新制度の概要を学修する。 ③ 保育所保育指針に示される基本原則、保育における養護、保育の目標・内容・環境・方法を理解する。 ④ 子どもの理解に基づく保育の過程（計画・実践・記録・省察・評価・改善）の循環構造を理解する。 ⑤ 諸外国および日本における保育思想と歴史の変遷を学修し、現代の保育の現状と課題を理解する。	① 保育の理念および「子どもの最善の利益」の意義を踏まえ、保育の社会的役割と責任について説明できる。 ② 子ども家庭福祉の法体系および関係法令、子ども・子育て支援新制度の概要について説明できる。 ③ 保育所保育指針に示される基本原則、養護、保育の目標・内容・環境・方法について体系的に説明できる。 ④ 子どもの理解に基づく保育の過程（計画・実践・記録・省察・評価・改善）の循環構造を関連付けて説明できる。 ⑤ 諸外国および日本の保育思想と歴史の変遷を踏まえ、現代の保育の現状と課題について自らの見解を述べるができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例	
前に踏み出す力	主体性	大学での学びの主体が、自分であることを理解している。
	働きかけ力	
	実行力	授業内容が理解できないことがあっても、諦めず粘り強く最後まで学修に取り組んでいる。
考え抜く力	課題発見力	自分の学修上の問題点を解決するうえで、効果的な解決策を発見している。
	計画力	
	創造力	課題を解決するために、今まで身に付けた知識・技能を最大限活用している。
チームで働く力	発信力	自分の主張したいことを相手に理解してもらえるよう、考えを整理して発信している。
	傾聴力	知識・技能をどのように活用して意見・考えが述べられているか、整理しながら聴いている。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	提出物は、期限に余裕をもって提出している。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

新基本保育シリーズ①『保育原理』中央法規
『保育所保育指針』フレーベル館

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：「保育原理」は「保育者論」と並び「保育の本質・目的に関する科目」で、子ども家庭支援論に関連する。
資格との関連：保育士資格

学修上の助言	受講生とのルール
<ul style="list-style-type: none"> ・予習・復習を行い、積極的に講義に参加すること。 ・自分が目指す保育者としての将来像をもって授業に参加すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者を目指す学生として相応しい服装、態度、言葉遣いで授業に参加すること。 ・課題等は期限を守って提出すること。 ・無断欠席をしないこと。欠席時は必ずメールにてその旨を担当教員に連絡を入れる。 ・授業の内容は状況に応じて順序が入れ替わることがあるため、classroomの授業資料、連絡をよく確認しておくこと。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	50	①	✓	(獲得) 保育所等の特色及び保育内容の理解 (40%) (活用) 幼児教育の変遷、日本の保育の歴史、保育所保育指針の理解 (40%) (解決) 実践例を通した子ども理解 (20%)	
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
				⑤	✓		
	学修成果	小テスト		0	①		
					②		
					③		
					④		
					⑤		
平常評価		レポート		20	①	✓	(獲得) 課題テーマに関する授業内容の理解 (20%) (活用) 課題テーマに関する発表内容の理解 (40%) (解決) 課題テーマに関する学びの活用に関する提案 (40%)
					②	✓	
					③	✓	
					④	✓	
					⑤	✓	
平常評価	成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		20	①		(獲得) 世界の保育制度の理解 (40%) (活用) 世界の保育具体的なニーズ、サービスの理解 (40%) (解決) 世界の保育の課題に関する理解 (20%)	
				②			
				③			
				④			
				⑤			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）		10	①	✓	(主体性) 予習課題・発表準備における該当課題について積極的に取り組むことができる。 (実行力) 困難があっても、粘り強く、強い意志をもって最後までやり切ることができる。 (課題発見力) 事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を明確にすることができる。 (創造力) 課題に対して固定概念にとらわれることなく、既習内容などから総合的に考えることができる。 (発信力) 具体例を用いて相手に分かるように説明したり、自分が話そうとすることを十分に整理して話す、発表することができる。 (傾聴力) 相槌や共感等を示すことで相手の意見を引き出すコミュニケーションができ、自分に対する意見においても素直に聞き、受け止めることができる。 (規律性) 授業ルール（学修態度、課題の期日を守った提出等）の必要性、重要性を理解し、遵守することができる。	
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
				⑤	✓		
総合評価割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>S (秀)</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合的な学修態度として、課題に対して必要な資料を的確に理解したり、教員に確認しながら計画的かつ意欲的に学びを深めることができる。 発表に関しては仲間と分担、協力して意欲的かつ具体的に準備、発表、学びの共有ができる。 レポートではテーマに沿った内容を、自分の言葉で具体的に表現でき、授業内容を踏まえた新たな提案ができる。 <p>A (優)</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合的な学修態度として、課題に対して必要な資料を理解したり、教員に確認しながら計画的かつ意欲的に学ぶことができる。 発表に関しては仲間と分担、協力して準備、発表、学びの共有ができる。 レポートではテーマに沿った内容を、自分の言葉で表現でき、授業内容を踏まえた新たな提案ができる。 	<p>B (良)</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合的な学修態度として、課題に対して必要な資料を理解したり、教員に確認しながら学ぶことができる。 発表に関しては自分の担当内容を理解し意欲的に発表ができる。 レポートではテーマに沿った内容を、授業内容を踏まえてまとめることができる。 <p>C (可)</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合的な学修態度として、課題に対して必要な資料を参考にしたり、教員に確認しながら学ぶことができる。 発表に関しては自分の担当内容を理解し発表ができる。 レポートではテーマに沿った内容をまとめることができる。 <p>その他：Dの再評価（再提出含む）</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	「保育の理念と概念」 ・保育の理念と概念について学ぶ。 ・保育の倫理と保育マインドについて学ぶ。	講義 グループワーク classroomに授業資料を共有(反転授業) classroom「課題」にてフィードバックを送信	講義の目的内容を理解できている グループワークに参加して意見が言える。	PCRシート活用(予習) 教科書 第1講を読む(復習) 授業ノートをまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	第2章「保育の社会的役割と責任」 ・公的施設としての社会的責任について学ぶ。 ・子どもの権利擁護と地域子育て支援について学ぶ。	講義 グループワーク classroomに授業資料を共有(反転授業) classroom「課題」にてフィードバックを送信	講義の目的内容を理解できている。 グループワークに参加して意見が言える。	PCRシート活用(予習) 教科書 第2講を読む(復習) 授業ノートをまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	第3講 「子ども・子育て支援制度と保育にかかわる関係法令」 ・子ども・子育て支援制度について学ぶ。 ・社会的養護保育について学ぶ。	講義 グループワーク classroomに授業資料を共有(反転授業) classroom「課題」にてフィードバックを送信	講義の目的内容を理解できている。 グループワークに参加して意見が言える。	PCRシート活用(予習) 教科書 第3講を読む(復習) 授業ノートをまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	第4講 「保育の実施体系」 ・保育施設の設置および運営の基準について学ぶ。 ・こども家庭庁について学ぶ。	講義 グループワーク classroomに授業資料を共有(反転授業) classroom「課題」にてフィードバックを送信	講義の目的内容を理解できている。 グループワークに参加して意見が言える。	(予習) 教科書 第4講を読む(復習) 授業ノートをまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	第5講 「保育所保育指針に基づく保育」 ・保育所保育指針について学ぶ。 ・幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領について学ぶ。	講義 グループワーク classroomに授業資料を共有(反転授業) classroom「課題」にてフィードバックを送信	講義の目的内容を理解できている。 グループワークに参加して意見が言える。	PCRシート活用(予習) 教科書 第5講を読む(復習) 授業ノートをまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	第6講 「保育の目的と方法」 「保育のねらいと内容と方法」 ・生活と遊びを通じた総合的な保育について学ぶ。 ・学びの連続性について学ぶ。	講義 グループワーク classroomに授業資料を共有(反転授業) classroom「課題」にてフィードバックを送信	講義の目的内容を理解できている。 グループワークに参加して意見が言える。	PCRシート活用(予習) 教科書 第6講を読む(復習) 授業ノートをまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	第7講 「乳児の保育」 ・乳児保育の基本について学ぶ。 ・乳児保育の配慮事項について学ぶ。	講義 グループワーク classroomに授業資料を共有(反転授業) classroom「課題」にてフィードバックを送信	講義の目的内容を理解できている。 グループワークに参加して意見が言える。	PCRシート活用(予習) 教科書 第7講を読む(復習) 授業ノートをまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	第8講 「1歳以上3歳未満児の保育」 ・1歳以上3歳未満児の保育の基本・内容について学ぶ。 ・1歳以上3歳未満児の保育の配慮事項、事故防止について学ぶ。	講義 グループワーク classroomに授業資料を共有(反転授業) classroom「課題」にてフィードバックを送信	講義の目的内容を理解できている。 グループワークに参加して意見が言える。	PCRシート活用(予習) 教科書 第8講を読む(復習) 授業ノートをまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	第9講 「3歳以上児の保育」 ・3歳以上児の保育の基本について学ぶ。 ・「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を活用した保育について学ぶ。	講義 グループワーク classroomに授業資料を共有(反転授業) classroom「課題」にてフィードバックを送信	講義の目的内容を理解できている。 グループワークに参加して意見が言える。	PCRシート活用(予習) 教科書 第9講を読む(復習) 授業ノートをまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	第10講 「子ども理解に基づく保育の過程①理論編」 ・子ども理解の視点について学ぶ。 ・子ども理解と保育の計画について学ぶ。 ・「諸外国の保育と日本の保育の現状と課題」発表準備	講義 グループワーク classroomに授業資料を共有(反転授業) classroom「課題」にてフィードバックを送信	講義の目的内容を理解できている。 グループワークに参加して意見が言える。	PCRシート活用(予習) 教科書 第10講を読む(復習) 授業ノートをまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	第11講 「子ども理解に基づく保育の過程②実践編」 ・子どもの個人記録の方法について学ぶ。 ・障がいのある子どもの理解と保育について学ぶ。 ・「諸外国の保育と日本の保育の現状と課題」発表準備	講義 グループワーク classroomに授業資料を共有(反転授業) classroom「課題」にてフィードバックを送信	講義の目的内容を理解できている。 グループワークに参加して意見が言える。	PCRシート活用(予習) 教科書 第11講を読む(復習) 授業ノートをまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	第12講 「日本の保育の思想と歴史」 ・近代までの日本の保育の思想と歴史について学ぶ。 ・日本の近代の保育制度のはじまりについて学ぶ。 ・「諸外国の保育と日本の保育の現状と課題」発表準備	講義 グループワーク classroomに授業資料を共有(反転授業) classroom「課題」にてフィードバックを送信	講義の目的内容を理解できている。 グループワークに参加して意見が言える。	PCRシート活用(予習) 教科書 第12講を読む(復習) 授業ノートをまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	第13講 「日本の保育の現状と課題」 ・日本の保育・子育てに関する現状と課題について学ぶ。	classroomに授業資料を共有(反転授業) classroom「課題」にてフィードバックを送信 オープンエデュケーションを視聴 【ほいくis】「“子ども主体の保育”の具体化【第一部】」汐見稔幸 https://hoiku-is.jp/seminar/movie/28/	講義の目的内容を理解できている。 課題レポートをまとめ、期日までに提出できる。	PCRシート活用(予習) 教科書 第13講を読む(復習) 授業ノートをまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	第14講 「諸外国の保育と日本の保育の現状と課題」発表 ・世界の保育制度と子どもの福祉について発表し学びの共有をする。	グループ発表 Notebooku LM等を使用して発表内容の省察を行う。 classroom「課題」にてフィードバックを送信	講義の目的内容を理解できている。 発表、グループワークに参加して意見が言える。	PCRシート活用(予習) 教科書 第14講を読む(復習) 授業ノートをまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	第15講 「まとめ」 保育の現状と課題についてまとめる。	講義 グループワーク classroomに授業資料を共有(反転授業) classroom「課題」にてフィードバックを送信	講義の目的内容を理解できている。 グループワークに参加して意見が言える。	PCRシート活用(予習) 教科書 第15講を読む(復習) 授業ノートをまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力